

2019（平成31）年度 学力向上プラン

1 今年度の学力向上に向けた取組計画

【※昨年度の成果と課題を踏まえた今年度の取組】

(1) 学力向上推進の重点

- 下位層の底上げ及び中・上位層の力を伸ばす
- 全校で取り組む学習規律の定着と徹底
- ICT 機器の効果的な活用，体験的な学習活動の取り入れ，地域の教育力の効果的な活用

(2) 学力調査における下位層の力を伸ばすための学校全体での具体的な取組

- 児童の実態に応じたきめ細やかな指導の充実（4月～）
 - ・計画に基づいた少人数指導の充実に努める。
 - ・退職教員等活用事業を活用し，TT 及び少人数指導による個に応じた指導やグループ指導充実に努める。
- 放課後学習及び長期休業中の学習サポートの充実（5月～）
 - ・週1回程度の放課後学習により，下位層の児童への基礎学力の定着を図る。

(3) 学力調査における中位・上位層の力を伸ばすための学校全体での具体的な取組

- 全国学力学習状況調査，ほっかいどうチャレンジテスト，釧路市標準学力検査等の分析結果から，解説資料や報告書，学力向上 Web システム，フォローアップシートシステムなどを活用する。
(7月～)

(4) 取組計画 <ア-1 学校改善プラン>

【※「釧路市学校改善プラン」における具体的な3つの視点に基づく年間計画】

	取 組 内 容
<視点1> 授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修をもとにした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の授業では，一人一人に考えを持たせること，互いに考えを伝え合う場面や活動を適切に取り入れ，授業の改善を進める。 ○個に応じた指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導，放課後学習，退職人材等活用事業の活用により，自力で問題解決を図ることができる指導の徹底を図る。 ○各種検査結果の効果的な活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 Web システム，フォローアップシステムにより児童の到達状況を把握し，指導に生かす。

<p>〈視点2〉 環境づくり</p>	<p>○学習規律の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律について教職員間で共通理解を図り，教室掲示や指導方法等を全校で統一するとともに，各学級での指導を徹底する。 ・児童の自己評価を定期的実施し，指導に生かす。 <p>○放課後学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容について吟味・計画し，個に応じた基礎・基本の確実な定着を目指す。 <p>○長期休業中の学習サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容について吟味し，学習内容の確実な定着を目指す。
<p>〈視点3〉 習慣づくり</p>	<p>○「家庭学習の手引き」の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学年×10分」以上の家庭学習を家庭に啓発するとともに，家庭学習の取り組み方について具体的に子どもに指導する。 <p>○家庭での習慣・生活習慣についての啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観日や学級通信，生活だより等を通して，家庭学習の習慣やゲーム，携帯電話の利用，テレビの視聴などを含む家庭でのルールや，生活習慣づくり等について啓発する。 ・保護者アンケートの中で，家庭学習での取り組み状況や時間を把握し，指導に生かす。

(5) 今年度の学力向上推進の重点を踏まえた各学年の目標と具体的な取組<イ-1 各学年>

	【 国 語 】	【 算 数 ・ 数 学 】
<p>1 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな，カタカナ，漢字（80字）の読み書きができ，伝えたいことを文章に書く。 ・文章をすらすら読み，お話に興味を持つ。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順に気をつけて，正しく文字を書くよう意識させ，ミニテストで定着を図る。 ・短い作文や日記を書かせることにより，書くことに慣れさせる。 ・言葉のまとまりを意識させ，姿勢や発声に注意して読ませる。 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たし算，ひき算を速く，正確にできる。 ・文章題の意味を理解し，立式することができる。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や宿題で，計算トレーニングを重ねる。 ・文章題は，わかっていることや「あわせて」「ちがいは」などのキーワードに留意させる。

<p>2 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した漢字を正しく使って文章を書くことができるように指導する。 ・文種（物語文・説明文）に応じた読みの力が身に付くようにする。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字スキルを活用しながら、漢字練習の進め方を徹底させる。ミニテスト等を繰り返しながら自信を付けさせる。 ・学習用語を確実に指導する。宿題でも、読み取り問題に継続して取り組ませる。 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で見やすいノートが書けるように指導する。 ・たし算、ひき算、かけ算九九の定着を図る。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用しながら、まずは教師と同じノートが作れるようにする。 ・自分なりの工夫ができる児童のノートを全体に広めることで、よりよいノートにしていくことができるようにする。 ・躓きに応じた丁寧な指導を心がける。次の指導に生かすことができるように、少人数指導者間の情報交換を密にする。
<p>3 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み取る力の定着を図る。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊かにするために、国語辞典を活用したり、文作りをしたりする等の学習 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の確実な定着を図る。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着を図るためのプリントを学習終了後も継続して取り組む。
<p>4 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き力の向上 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリルやミニテストを行う。 ・ことばのきまりについてプリント学習 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算力の向上，応用問題を解く力をつける。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算プリントの発行 ・学び合いと ICT 機器，学びの交流
<p>5 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で漢字の読み書きの力を高める。 ・文章の読み取りや，文章を要約する力を高められるようにする。 ・考えや伝えたいことを，的確に話す能力を高める。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字スキル，毎日の漢字練習による反復学習を行う。 ・指示語の読み取りや，制限文字数で答える問題などを授業や宿題で取り入れる。 ・相手に伝わりやすい話し方，文章の書き方について繰り返し指導する。 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四則計算を正確にできる力をつける。 ・自分の考えをわかりやすく伝える力をつける。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別の少人数指導を有効活用し，児童の実態に合ったきめ細かな指導を行う。 ・自分の考えを説明できる力をつけられるよう，学び合いの場を設定した授業づくりを心がける。
<p>6 学年</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校進学を見据え，基礎的・基本的事項の定着を図る。 ・自分なりの読み取りや考えたことを表現できるようにする。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字スキルや宿題などを利用して，反復学習を計画的，継続的に行う。また，家庭での取り組みも呼びかけていく。 ・日常の取り組みの中で，全体の前で発言する機会を多く組み入れる。 ・自信を持って発言できるように，少人数での話し合いや書く活動を多く取り入れる。 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校進学を見据え，基礎的・基本的事項の定着を図る。 ・答えを求めるだけでなく，考え方や解決方法を式や言葉に表すことができるようにする。 <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着，深い理解につながるように，少人数での話し合いや書く活動を多く取り入れる。 ・問題や説明が視覚からも理解しやすいように，ICT 機器などを活用する。